

★靖国神社のことを考えてみよう

◆去る八月十五日（終戦記念日）小泉首相は靖国神社を参拝しました。この機会に、今日は、靖国神社のこと、そして、そこに国の首相が参拝することについて考えてみよう。

★戦争を讃美する神社・靖国神社

◆皆さんは靖国神社に行ったことがありますか？そこには、靖国神社経営の「遊就館」という戦争博物館があります。そこでは、日本戦争の歴史について、爆撃機、大砲、人間魚雷などが展示され、記録映画では、日本の戦争が正しかったと音声で解説しています。

◆遊就館のパンフレットには、日本の過去の戦争は侵略戦争ではなく、正当な誇らしい戦争だったと讃え、そして死んでいった兵士達を英霊として祀っているのです。これが靖国神社の主張（本音）です。

★首相も「お詫びしたい」誤った戦争だった

◆しかし、小泉首相自身、あれは間違った戦争だったと言っているのです。昨年八月十五日、小泉首相は「戦後六十年」の談話を発表し、「我が国は、かつて植民地支配と侵略によって多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました。こうした歴史の事実を謙虚に受け止め、改めて痛切な反省とお詫びの気持ちを表明する」と述べています。

◆この小泉首相の発言と、靖国神社の主張とは、明らかに相容れません。にもかかわらず、その行動（参拝）によって、首相は誤った戦争を肯定し讃美する靖国神社のメッセージを内外に送っているのです。

★「心の問題」で片付かない靖国神社参拝

◆そのほか靖国神社は、原爆で亡くなった方や一般国民の戦死者などは祀らず、逆に間違った戦争に導いたA級戦犯の人を祀るなど、大変差別的な神社です。

◆しかし、小泉首相は、参拝は「心の問題」だと言って、これらの問題に目をつむり憲法第二十条第三項（国の宗教活動の禁止）に違反すると言われている参拝を行いました。

◆私たち、浜松市憲法を守る会は、平和憲法を守ると共に、戦争を讃美し再び国民を戦争に誘導する首相の靖国神社参拝に反対するものです。平和な日本の未来のために、皆さん、ぜひ自分のこととして考えてください。

二〇〇六年九月十日（日） 第四七五回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市紺屋町三〇一―一五

★月例護憲デモ 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合